SARBLAB (サーブラボ) の設置について

一般社団法人 第二地方銀行協会 イノベーション推進室 (SARBLAB オフィス)

SARBLAB*とは、第二地方銀行協会加盟行のデジタル化やスタートアップなどの外部企業との連携によるオープンイノベーションを支援するため当協会が運営する組織です。これまでの「FinTech研究会」、「オープンイノベーション検討会」の成果等を踏まえ本年6月に活動を開始しました。

*Second Association of Regional Banks(第二地方銀行協会) Laboratory の略

1. SARBLABの概要

(1)目的等

会員行がデジタライゼーションに適切に対応するため、オープンイノベーションの視点から幅広い分野との外部連携を行い、顧客視点でのビジネス改善と創出を図るための情報提供や意見交換等を行うことを目的としています。

従来から、デジタル戦略の重要性を踏まえ、「Fintech 研究会」、「オープンイノベーション検討会」の開催と並行して、会員行の専務・常務級の役員で構成する協会内の「地域金融戦略委員会」にも報告を行ってきました。今年度は、アドホックな勉強会から、更に、経営陣と担当部の情報共有を充実させるため、地域金融戦略委員会のサブ・コミッティーと位置付けを明確にしました。(別図参照)

(2)名称等

昨年度の「検討会」の視察先であるスタートアップ企業の拠点である FINOLAB (フィノラボ) や BlueLab (ブルーラボ) の施設や取組等から多くの示唆を得ました。こうしたことなどから、名称もイノベーションを目指す拠点として「SARBLAB」としました。今後も FinTech スタートアップ企業のほか、様々なコミュニティのプレーヤーや金融庁・日銀との連携を目指していきます。

2. SARBLAB の活動概要

○全体会合

会員行間の情報交換、ビジネス交流会や講演を定期的に開催します。

○グループ会合

会員行の課題や関心事を集約し、取組テーマの選定・分析等を実施した上でプロジェクトを発足し、共同化等により実装化を目指します。 〇外部連携強化等のため、対外的な発信力を充実強化します。

3.「デザイン思考」のワークショップ

このほかに、銀行の顧客が抱える課題の発見や解決策を導き出す「デザイン思考」のワークショップをオープンイノベーションの一環として実施しました。今後も、様々なニーズを利用者視点で見極め、新しい価値に結び付けるため、引き続き、デザイン思考の取組を継続していきます。

(別図)

2019 年度のデジタル戦略取組体制

「地域金融戦略委員会」

デジタル化の報告等(適宜実施)により<u>情報共有</u>

サブ・コミッティー『SARBLAB』

対象: 実務者 (テーマに精通した総括的な立場の者)

- ○「全体会合 (SARBLAB meetup)」 会員間の情報交換、ビジネス交流会、講演等
- ○「グループ会合(SARBLAB プロジェクト)」個別行の共通課題・関心事について検討等

「SARBLAB」キックオフイベントの模様 (2019.6.18 開催)

○第二地方銀行協会 会長 藤原一朗 名古屋銀行頭取



○パネルディスカッションの模様〈パネラー〉

iYell 株式会社 社長室長 金子 洋平 氏 株式会社ココペリ 代表取締役 近藤 繁 氏 株式会社富山第一銀行 デジタルイノベーション室長 長谷 聡 氏 株式会社名古屋銀行 中村 太智 氏 (Blue Lab 出向) 〈モデレーター〉

金融庁 総合政策局 フィンテック室長 三輪 純平 氏



○当日の登壇者



○ネットワーキング (懇親会) の模様



